令和4年度　福井県立清水特別支援学校　学校関係者評価書

（問）　・学校評価の目標に対する成果や課題の分析は適切か。
　　・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
　　・その他

（意見を聞いた方）
学識経験者、島寺地区自治会長、保育関係者、福祉関係者、同窓会会長、PTA会長

（ご意見等）
〇教育課程・学習支援
・学校評価書では、改善策・向上策について「学校生活での学びが家庭生活や社会生活にも活かされていくような授業づくりを行う」とあります。「学校間又は居住地交流」においては、相手の方をよく見て「どうぞ。」「ありがとう。」を言葉や仕草で伝えることができたとあることからも、学校生活での学びが家庭生活や社会生活にも活かされているなと感じます。高等部卒業生について、卒業時の生徒の実態および学校の支援内容について進路先への移行がしっかりとなされ、より個人の能力を伸ばしていけるような仕組みづくりを行ってほしいと思います。
・学びのつながりを検討していく中で「人との関係」についても情報共有するとよいです。
・個別での支援や学習に取り組み、教師間での共通理解もされているということでとても良いと思います。

〇生徒支援
・感染症対策としては「手洗い」が一番効果があると思いますので、しっかりと行ってほしいです。
・コロナ禍での学習や行事の取組は難しいところもあったと思いますが、しっかりとした感染症対策を行いながら少しずつ以前よりも活動が増えてきているようでよかったです。今後も継続して感染症対策には取り組んでいってほしいと思います。
・コロナ感染症への対応、本当にご苦労様です。

〇進路支援
・教職員の進路情報の収集方法について、取組指標の回答の中で多くの教職員が「進路が回覧する研修会等の資料に目を通している」を選択しています。教職員に有効だった回覧資料等は、その内容について保護者にも情報提供をするようにするとよいです。

〇校内支援
・スクールカウンセラーと連携しての保護者対象相談会において、児童生徒・保護者を含めた相談内容やアドバイス等については学校も情報共有することは必要なことであり、スクールカウンセラーが聞き取った内容について、今後の支援等に役立てられるとよいと思います。

〇地域支援・交流（交流及び共同学習）
【地域との交流について】
・高等部の「すみれ荘」との交流が雨天でできなかったとありますが、できない可能性も含めて計画し、ZOOM等を利用して映像を通して挨拶やメッセージ、お礼の場面などの交流ができると良かったと思います。
・地域の方と直接交流をするということはお互いにとってもとても良い経験学びの場だと思うので今後もぜひ積極的に行っていってほしいと思います。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）
　今回の学校評価については取組指標、成果指標、満足度指標ともに目標指数80％を超え100％達成できた重点目標が多かった。そのことに甘んじるのではなく、評価の選択肢A・Bの割合を確認し、AとBが半々であったり、Bの値や割合が多い項目については「評価がしにくい、どう評価してよいか分からない」等の意見も含んでいる可能性があることを考慮し、各指標の指数を捉えるようにしたい。その上で、学校評価アンケート結果や関係者からの貴重なご意見・ご指摘等を踏まえて検討し、次年度のスクールプランの取組内容等に反映させていきたい。